

# 《令和5年第4回大空町議会定例会一般質問通告内容集約書》

【7名11件】

〔令和5年12月7日整理・大空町議会事務局〕

質問日	順	質問者	質問事項	頁
12月14日 (木曜日)	1	上地 史隆 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和5年12月1日 午前11時30分	1. 熊の出没対策について 2. 介護保険サービスの現状について	1
	2	後藤 忍 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和5年12月6日 午後2時41分	1. 大空町の農業農村整備事業について	2
	3	大泉 知功 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和5年12月6日 午後3時52分	1. 女満別・東藻琴地区市街共同墓地の管理及び合同納骨塚について	3
	4	福田 淳一 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和5年12月6日 午後4時13分	1. 大空町の障がい者福祉の現状と今後の取り組み方針について 2. 特別支援学級生徒・児童増加への対応について	4
	5	鈴木 秀之 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和5年12月7日 午前11時27分	1. 住民自治を支える施策の充実について 2. 大空町地域振興施設(道の駅ノンキーランドひがしもこと)の機能充実策について	6
	6	川村 淳 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和5年12月7日 午後1時40分	1. 観光と環境の両立について	8
	7	岩原 繁 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和5年12月7日 午後2時45分	1. 大空町女満別研修会館建設計画について 2. 脱炭素社会への取り組みについて	9

※ 一般質問は「一問一答方式」にて、通告順により行われます。

※ 傍聴席入口に掲示の傍聴規則を順守の上、携帯電話の電源はお切りくださるよう御協力をお願いします。

※ 御不明な点などがありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 熊の出没対策について	<p>全国及び道内各地において熊による人身事故や農作物の被害が多発しております。町内においても熊の目撃情報が寄せられており、今後も増加することが予想されます。住民の安全を守り不安を払拭するために、どのような対策を行っているのか、次の事項について伺います。</p> <p>(1) 被害状況、目撃数、出没件数、捕獲頭数について</p> <p>(2) 狩猟者の減少と高齢化が問題になっていますが、町の現状はどうなっているのか</p>	町長
2. 介護保険サービスの現状について	<p>介護保険サービスを提供する事業所は、燃料費や光熱水費、物価の高騰、人件費の上昇、人材不足や新型コロナウイルス等の感染症の影響等により、経営難に陥っている事業所が全国的に増えていることが問題となっています。町内の介護保険サービスを提供する事業所の現状はどのようになっているのか、次の事項について伺います。</p> <p>(1) 現在の要支援、要介護者数と今後の推移について</p> <p>(2) 町内で受けることが出来る介護保険サービスと事業所の経営状況について</p> <p>(3) 人材の確保について</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 大空町の農業農村整備事業について	<p>本町では、農業農村整備を促進するため、各地域からの要望等を踏まえ、かつ、関係機関・団体等と連携しながら、農業生産力の維持強化のための広域的な農業生産体制の整備を行い、足腰の強い農業の振興を図っているところです。</p> <p>今後、持続的に本町農業が発展していくためには、農産物の生産の安定と品質の向上を図り、農地を計画的に整備することや、農業用施設の老朽化に伴う整備・維持補修を行っていくことが必要であると考えますが、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 国営、道営、団体営の各事業の実施状況について</p> <p>(2) 農業農村整備事業について、どのような認識及び考え方で進めて行くのか</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1. 女満別・東藻琴地区市街共同墓地の管理及び合同納骨塚について</p>	<p>最近、個人のお墓のあり方に関するテレビ・新聞などの報道を見ますと、各家庭のお墓は、これまでのような親から子、子から孫などへ先祖代々の墓を継承していく考え方ではなく、「自分の代で墓を終う」というような、墓のあり方が一新するような現状となっています。</p> <p>本町でも、高齢化や核家族化の進展や都会等に住むご子息の元への転居等の影響により、地元に残る親族関係者が減り、遠方に住まわれる方が、お墓の管理をされている状況が多くなってきているという話を耳にする機会が多くなりました。</p> <p>さらには、お盆などの時期に帰省来町されて、お墓参りをされるのですが、自身の高齢化により帰省そのものが年々できなくなってきているようです。</p> <p>このような状況等が続くと、お墓の管理自体が困難となり、荒れてしまう可能性が高くなるのではないかと考えます。また、合同納骨塚の利用希望者も今以上、多くなってくるのではないかと思います。</p> <p>以上のことから、次の点について伺います。</p> <p>(1) 現在の両地区市街共同墓地の現状について</p> <p>(2) 無縁墓地の存在について</p> <p>(3) 合同納骨塚の現状について</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 大空町の障がい者福祉の現状と今後の取組み方針について	<p>障がいのある方への福祉行政は、平成18年の障害者自立支援法施行以来それまでの保護政策から、地域で自立して障がい者本人が望む暮らしが送れるように方向転換し、市町村はその実施主体として、障がい者の自立支援に取り組んできているところです。</p> <p>近年、療育手帳を持つ知的障がい者の増加が顕著な本町における取組み状況について、以下の2点について伺います。</p> <p>(1) 大空町の障がい者が町内で自立した生活を送るための福祉サービスについては、制度としては様々なサービスがありますが、現状では利用できるサービス事業所が町内にはほとんどなく、町外のサービス事業所を利用せざるを得ない状況であり、本町に住む障がい者とその家族には大変な負担が生じている状況だと思えます。</p> <p>町長の現状認識と対応方針について伺います。</p> <p>(2) 障がいがある方々が親亡き後もこの町で暮らしていくためには、支援を受けながら働き、住む場所が必要です。義務教育を終えた障がいのある子供たちは、住む場所と働く場所を求めてこの町を出ていかなければならない状況ですが、このような福祉サービス事業が町内に必要と考えますが、整備予定について伺います。</p>	町長
2. 特別支援学級生徒・児童増加への対応について	<p>平成27年には、小・中学校合わせて21名だった特別支援学級在籍者数が、令和5年度には50人を超え増加が著しい状況です。</p> <p>特別支援学級在籍児童・生徒の支援のあり方、対応方針等について、以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 障がいがある未就学児については、早期の療育訓練を行う必要がありますが、本町には児童発達支援事業所がないため、美幌、網走の療育センターに通わざるを得ない状況ですが、近年、通所者の増加により希望どおりの通所は難しく、また、送迎する保護者にとっても大変な負担となっています。</p> <p>町内に児童発達支援事業所が必要と考えますが、町長の現状認識と今後の整備方針について伺います。</p>	町長 教育長

(2) 就学後の障害のある児童・生徒においても、健常児とは別の学びによって発達の差をできるだけ縮める必要があります。共働き世帯が増加している近年において、放課後の居場所づくりの必要性和併せて、その学びの場づくりが必要と考えます。

放課後デイサービス事業所の整備が必要と思いますが、町長の対応方針について伺います。

(3) 特別支援学級在籍者数の増加に伴い、その子の将来の人生の過ごし方を見据えた支援が必要であると同時に、親亡き後の子供の将来を心配する保護者の悩みにも支援が必要であると思います。そしてそういった保護者がまず頼りにするのは学校の先生であると思います。

学校として、親亡き後のその子の将来に向けた準備についてどこまで助言できているのか、現状及び教育長の必要性に対する考え方、今後の対応方針について伺います。

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1. 住民自治を支える施策の充実について</p>	<p>まちづくりにおいて地域住民の自助・共助、行政の公助の調整は、地方自治体が持続可能なコミュニティを築く上で重要な要素です。</p> <p>住民の共助活動、住民の自治活動を支える施策のさらなる充実が必要との観点から次の項目について伺います。</p> <p>(1) 自治会活動充実支援策について</p> <p>コロナ禍の中で自粛せざるを得なかった自治会での町民相互のコミュニケーションを深める活動が役場職員の地域担当職員の協力も得て徐々に再開されています。</p> <p>国レベルでもポストコロナの社会を見据え、地域活性化につながる地方公共団体の活動を人材面と資金面で支援する地域力創造の施策がスタートしており、集落支援員制度等を活用している自治体が増えています。</p> <p>住民自治を支える施策の充実としての地域創造・地域活用化プログラム等国の制度活用方針に関し、町長の見解を伺います。</p> <p>(2) 地域の自主防災組織活動の支援について</p> <p>自主防災組織は、自治会等を単位として、自主的に当該地域の防災対策を確立するための活動を行っています。</p> <p>組織づくりを今後も推進する上で自治会等の役員と連絡調整を密にしていく必要があると感じています。</p> <p>活動を支援する上で資金面同様に自治会担当課の職員等との内部連携や防災活動を地域に出向いて助言指導する体制づくりも検討していく必要があると思います。</p> <p>地域の安心安全を支える住民自治組織充実と活動支援に関し、町長の見解を伺います。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 大空町地域振興施設（道の駅ノンキーランドひがしもこと）の機能充実策について</p>	<p>大空町地域振興施設は、緊急避難所に指定されています。緊急避難所の整備は、災害時における地域住民の安全と安心を確保する上で最も基本的かつ重要な要素であるといわれています。</p> <p>利用者や住民の期待に即した施設充実策が必要との観点から次の事項について伺います。</p> <p>(1) 指定避難所としての災害時対応機能充実について</p> <p>大空町地域振興施設は、「道の駅ノンキーランドひがしもこと」として平成29年に整備されて以来、地域の交流拠点としての役割を果たしています。</p> <p>大空町防災計画においては、「指定避難所」、駐車場は、「指定緊急避難場所」としても位置づけられています。</p> <p>吹雪災害による一時避難場所、風や雪害等による停電、地震災害に伴う断水等へ対応する災害支援場所として活用することが想定されます。</p> <p>道の駅のあり方に関する国土交通省の検討会においては、「第1段階は、通過する道路利用者のサービス提供の場。第2段階は、地域の創意工夫により道の駅自体が観光や地域づくりの拠点となる場。第3段階は、地方創生と観光を加速する拠点施設として、より施設機能を充実することを目指す。」との提言がなされています。</p> <p>道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」は、平成25年3月の吹雪災害時の一時避難所、除雪・救援車両の拠点基地として防災機能が活用された事例として紹介され、地域社会へ貢献する施設として高く評価されています。</p> <p>国道334号線と道道102号線の交差点に位置する「ノンキーランドひがしもこと」においても最近の通過車両増加傾向を踏まえ、防災機能のさらなる充実が必要と思われます。町長の見解を伺います。</p> <p>(2) 新たな魅力を持つ地域づくりに貢献する施設機能の充実について</p> <p>道の駅の機能充実策として、電源の確保は優先事項と考えられます。太陽光発電等を活用した自家発電能力の付加等は、施設運営の効率化と魅力化につながると思います。地域の安心安全を支える施設としての防災機能やゼロカーボン社会づくりに貢献する機能の付加充実について、町長の見解を伺います。</p>	<p>町長</p>
---	--	-----------



質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 観光と環境の両立について	<p>(1) 観光客の受入れに対する課題について</p> <p>コロナ感染症が5類となり、本格的に国内外からの観光が動き出し、大空町もオホーツクの玄関口として多くの観光客が来訪されている状況です。</p> <p>世間では、コロナ禍より続くキャンプブームもまだまだ去っておらず、各地のキャンプ場や道の駅では、多くの観光客を目にする日々が続いています。</p> <p>多くの観光客に訪れていただき、大空町の道の駅を拠点として観光を楽しんでいただけることについては、非常に嬉しく思いますが、その反面、拠点となっている女満別及び東藻琴の道の駅では、短期も長期も含めて滞在している旅行客のゴミの受入れに対する分別処理に大変ご苦労されているとの声を聴いています。この現状について、町としてどのように捉えているのか見解を伺います。</p> <p>(2) 持続可能な観光客の受入れとゴミ処理の対策について</p> <p>観光客のゴミについては、基本的に家庭ゴミではなく事業用ゴミとして取り扱われていますが、その受入れは、数年前まではスーパーやコンビニなどでもゴミ箱を設置して回収されていたと思います。</p> <p>しかし、コロナ感染症が蔓延し始めた頃から、各店舗先からゴミ箱が一斉に撤去され、今もゴミ箱を設置されていないスーパーやコンビニが大半です。</p> <p>今年は、女満別湖畔でのキャンプ場でもゴミ回収を実施していない状況もあり、その大半ゴミは、女満別の道の駅のゴミ箱に捨てられ、処理されている現状のようであり、このことについて何らかの対策を講じる必要があると考えますが、見解を伺います。</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 大空町女満別研修会館建設計画について	<p>(1) 現在、女満別研修会館を新しく建て替えるべく、役場内及び外部の方々が参加組織されている協議会で計画検討されているとお聞きしていますが、協議会における協議の進捗状況や建設予定年度などについて伺います。</p> <p>(2) 生涯学習の観点から、現研修会館の利用はコロナ禍に比べ利用者も増えているようです。また、一部使用ができない箇所もあり、新しく新築される間、類似施設等への一部移動も考えるべきと思いますが、旧女満別高校の校舎等施設の利活用について伺います。</p> <p>(3) 旧女満別高校校舎の利活用の際の移動手段として、利用者へのバスの運行の手配が可能かどうか伺います。</p>	教育長
2. 脱炭素社会への取り組みについて	<p>(1) 脱炭素社会に向け、町においても第4期大空町地球温暖化対策実行計画を策定していますが、大空町における目標達成の数値の見直しについて伺います。</p> <p>(2) この実行計画は、地方公共団体の事務事業に限定していますが、町民に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>(3) 再生可能エネルギーとして、太陽光パネルや木質バイオマスの利用補助創設について伺います。</p>	町長